

「知の発信」を北上市で

社会知性フォーラム 第3弾

ニッポンス専修

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
東神田3-8-8
TEL 03-3265-5819(直)

主なニュース

- 1 三大学知的探訪公開講座……
- 2 フランス革命史料研究センターが国際シンポジウム……
- 3 特集・課題解決型インターンシップ……
- 4 「学生寄稿」ゼミ合宿と夏期休暇・海外旅行体験……
- 5 専修大学自動車整備コンテストで表彰台を独占……
- 6 「石巻専修大学」……
- 7 ……
- 8 ……
- 9 ……
- 10 ……



2013年
1/4金

出願受付 スタート!

●大学入試センター試験利用
前期入学試験

●スカラシップ・全国入学試験
●前期入学試験

出願締切日は、試験制度により
異なりますのでご確認ください。
<http://www.senshu-u.info>

専修大学入試 検索

入学センターインフォメーション

[神田キャンパス] TEL03-3265-6677
[生田キャンパス] TEL044-911-0794

大学が持つ研究力・教育力を生かし、地域社会に「知の発信」をする「社会知性フォーラム」(専修大学主催、北上市・北上市教育委員会他後援)が11月17日、岩手県北上市の日本現代詩歌文学館で開かれた。書家としても活躍する仲川恭司・専修大学文学部教授と、経営組織論を専門とする杉田博・石巻専修大学経営学部准教授が講演。近隣の市民をはじめ、校友、育友、専修大学北上高校関係者ら約230人が来場した。2010年12月の玉名市、11年11月の石巻専修大学での開催に続く第3弾となる。

市民ら230人が来場

日高義博理事長・学長 安時代に生まれ、『源氏 語文芸の発達を導いた平物語』『枕草子』など物 仮名・片仮名の由来など

仲川専修大文学部教授

日本の文字文化の素晴らしさを語る

杉田石巻専大経営学部准教授

被災地企業の再建を経営学の視点で

ど、歴史とともに築かれてきた日本の文字文化について概説し、「漢字の音を使用して日本独自の味をもつ。世界に類を見ない美しい文字は日本の財産である」と話した。続いて杉田准教授は「再開させるための計画」



▲ あいさつする日高理事長・学長(上)と坂田石巻専修大学



の言葉を書き記すことが「被災地における経営とできる文字を編み出した経営学」同じ場所と同じことは歴史的に大きな意 時間を生かす」を講

を策定していなかった被災地の中小企業が、震災後どのように生き抜き、再建を果たしてきたか、経営学的視点から検証。

石巻地域の水産加工会社が復興物語の主人公であるならば、石巻専修大学復興共生プロジェクトによる商品開発やOEM



司会を務めた専大北上高の佐々木さん

最後に坂田隆石巻専修大学長が閉会のあいさつを行った。司会を専修大

M(外部製造委託)など、被災企業支援の取り組みを紹介し、「現在、石巻では次代を担う若き経営者が新しい水産業の構築に向けて始動している。困難に立ち向かう経営者道。パソコンや口頭では伝わらない気持ちや自分だけの表現ができる世界なので、若い人にもその素晴らしさをもっと味わってほしい」と呼びかけた。



▲ 仲川教授(左)と杉田准教授



▶ 日本現代詩歌文学館で開かれた社会知性フォーラム。壇上は仲川教授

▶ 場内からは活発に質問がなされた

第41回川崎市スポーツ賞

サッカー部が受賞



第41回川崎市スポーツ賞に昨年度の全日本大学サッカー選手権大会で、初出場・初優勝を遂げた本学のサッカー部が選ばれた。11月8日、中原区の川崎市国際交流センターホールで贈呈式が行われ、源平貴久監督に阿部孝夫川崎市長から賞状、記念品などが手渡された。スポーツ面と8面に関連記事。

特集 課題解決型 インターンシップ 4~5面



▲ 「市場スイーツ」開発プロジェクトでオリジナルメニューを考案した学生たち

▶ 11月4日に開かれた成果発表会では26チームが社会貢献・地域貢献の成果を報告

